

第1号



学校だより

■学校長あいさつ

令和6年度が始まりました。昨年度に引き続き、学校長の安藤徹と申します。岩戸支援学校長として今年度で5年目を迎えます。

さて、今年度の岩戸支援学校はA部門（肢体不自由教育部門）に6名、B部門（知的障害教育部門）に51名の計57名の新入生を迎えました。部門ごとの生徒数ではA部門が20名、B部門が127名となり、学校全体では昨年度比5名増の147名の生徒が在籍し、4月5日に今年度の学校生活がスタートしました。

ところで、岩戸支援学校は今年度、開校から15年という一つの「節目の年」を迎えます。15歳という年齢を人間に置きかえてみると、青年前期から後期へと移行する重要な時期となるわけですが、学校も子どもから大人へと変化していくために今までの岩戸支援学校の教育活動を振り返り、学校としての強みや弱みを整理しながら、社会や地域の中で岩戸支援学校がこれからどのような役割を担うのか、今後の進路を考えるために大切な1年になるのではないかと考えております。

今年度も引き続き、岩戸支援学校の教育活動へのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願ひします。



令和6年度 4月

県立岩戸支援学校
横須賀市岩戸 5-6-5
☎: 046-839-4500
FAX: 046-849-3200

■A部門長（國吉 慎一）:写真左

昨年度に引き続きA部門長（肢体不自由教育部門）になりました國吉慎一です。新入生6名が仲間に加わり、20名の生徒と楽しい学校生活を過ごせるよう頑張っていきたいと思います。今年度のA部門は、ここ数年の中で比べると最大の在籍数となり、非常に賑やかなスタートとなりました。A部門の生徒たちが活動するA棟内は朝から子どもたちの元気な声や明るい笑顔で、満ちあふれています。1年間楽しく学びながら、充実した学校生活を送れるよう教員一同努めていきたいと思います。



■B部門長（小川 英俊）:写真右

昨年度に引き続きB部門長（知的障害教育部門）をさせていただく小川英俊と申します。岩戸へ転勤し、4年目にしてはじめて入学式に合わせて桜並木が満開となりました。新たな仲間を加え新生岩戸支援学校として、『挨拶』を大切にし、生徒一人ひとりが『校内』『地域』で『地元』で活躍していくよう、保護者の皆様、地域の皆様と協力しながら、教員一同、精一杯支援をしていきたいと思います。

■副校長あいさつ

昨年度に引き続き、岩戸支援学校2年目となりました鈴木香子です。

今年は桜の開花が遅く、4月5日は満開の桜が生徒たちの進級、入学を祝っているようでした。夜から翌日にかけて強い雨となりましたが、散ってしまうことなくたくさんの桜が残っていました。可憐なイメージの桜ですが、同時に雨風に負けない力強さを感じました。そしてピンクから少しづつ緑がまざり、生き生きとした葉桜になるまで、日々移り変わる景色を楽しむことができました。本校の生徒達も岩戸の桜のように困難に負けない強さを持ち、どんな時も生き生きと輝く人に育ってほしいと願っています。教職員一同、保護者の皆様、地域の方々と共に生徒達の成長を支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



■教頭あいさつ

今年度、岩戸支援学校の教頭として着任いたしました、黒田直紀と申します。昨年度まで、同じ横須賀市内の武山支援学校に勤務していました。4月、例年より遅く満開となった学校周辺の桜が、入学生を温かく迎えて、とても晴れやかな気持ちになりました。

生徒が岩戸支援学校で充実した3年間を送ることができますよう教職員一同、保護者の皆様と協力して取り組んでいきます。また、地域の皆様と「つながり」を大切に教育活動を進めていきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



数年ぶりに入学式を彩った桜が新入生の入学を祝福しているようです。新入生の皆様、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。岩戸支援学校の3年間が皆様の「できた！」「わかった！」「うれしい！」につながるよう教員一同全力でバックアップさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



（副校長：鈴木 香子）（学校長：安藤 徹）（教頭：黒田 直紀）



◇◇ 年間の主な予定 ◇◇

- ・9月14日（土）岩桜祭（文化祭）
- ・令和7年2月7日（金）職業製品販売会